



原発ゼロノミクス・シンポジウムVol.3 東電解体と賠償問題

脱原発を経済再生のチャンスとし、原発の不経済を明らかにする「原発ゼロノミクス」。

今回は東電問題に焦点を当てます。

福島原発事故による避難者はいまだに15万人以上、賠償の支払いは遅れ、避難区域の再編によって賠償打ち切りが始まっています。東京電力「延命」の理由としくみを整理するとともに、賠償支払いの実態について、現場の状況を含めて報告します。

【日時】 5月23日(木) 18:30～20:30

【会場】 渋谷商工会館・大研修室

(渋谷1-12-5) 渋谷駅宮益坂口より徒歩5分



【内容(予定)】

- ・なぜ東電は生き残ったのか 堀江鉄雄氏
- ・歪められた「賠償」 除本理史氏
- ・ディスカッション 堀江鉄雄氏、除本理史氏、竹村英明氏

堀江鉄雄氏 (東電株主代表訴訟原告代表)

1948年神奈川県生まれ。核燃料輸送、あかつき丸プルトニウム輸送、返還ガラス固化体輸送問題で活動、東電株主総会などで原発の経済性の問題を提起。

除本理史氏 (大阪市立大学大学院教授)

1971年神奈川県生まれ。水俣病などの公害研究をふまえ、震災後、原発賠償にも取り組む。主な著書に『環境被害の責任と費用負担』(有斐閣)、『原発賠償を問う』(岩波ブックレット)、『原発事故の被害と補償』(共著/大月書店)ほか。

【資料代】 1000円 (eシフトブックレットVol.3『日本経済再生のための東電解体』(合同出版)つき)
ブックレットをお持ちの方は400円

【主催】 原発ゼロノミクスキャンペーン、eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)

【問合せ】 eシフト事務局(FoE Japan内) Tel: 03-6907-7217 Fax: 03-6907-7219